

熊本県立劇場 伝承芸能調査事業 市町村別データベース(合志市)

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
1	合志市	(合志町)上町・横町・下町	竹迫観音祭	たかばかんのんさい	合志町無形民俗文化財 昭和53年3月31日	7月10日	竹迫観音堂	800年続く伝統行事。鎌倉時代の風流盆踊りが起源といわれています。畜産振興・交通安全を祈願するお祭りです。毎年、町内外からたくさんのお見物客が訪れます。【合志市HP/2005】 五穀豊穡、畜産振興を願うものである。【2001】 《特色》各町から観音堂へ行くのを上り祭、帰りを下り祭という。各町では太鼓を二張り乗せたドランジャーという山車を引き、太鼓、笛で「檜巻き」という曲を演奏して観音堂に向かう。途中、三叉路で三地区のドランジャーが出会い、激しく衝突させた後、連結して観音堂に上る。そこで分離してお堂を右回りに三回まわる。途中で曲が「道楽」に変わり各地区に戻る。【1991】		総務課秘書広報係 096-248-1112 FAX096-248-1196		
2	合志市	合志町上庄	高千穂神楽	たかほかぐら	合志町無形民俗文化財 昭和53年3月31日	1月18日 4月8日 11月19日	竹迫日吉神社	120年以上受け継がれてきた伝統の舞。地元の上庄区の氏子が1888年、宮崎県高千穂町で習得してきたのが始まりとされる。一方で合志町史には、菊池市泗水町の神社で習ったとの記載もある。戦後、保存会がつくられ、現在6代目。全9座ある舞は、太鼓や横笛に合わせ、刀剣や鈴などを持って1~2人が4人で舞う。4年前から小学生を対象に神楽教室を開催。担い手にも力を入れている。【2012.11.12熊日】 優雅な舞が特徴の神楽。竹迫日吉神社の秋の例大祭で奉納されます。現在は、6代目の保存会メンバーが継承しています。【合志市HP/2005】 竹迫日吉神社の大祭において九座が奉納される。【2001】 《演目》神の舞、二幣、奉剣、二剣、弓、四剣、神進歌、奉剣。《沿革》明治21年に宮崎県高千穂に出向き習ってきたと言われている。【1991】	【伝統芸能】 神楽	総務課秘書広報係 096-248-1112 FAX096-248-1196		
3	合志市	西合志町須屋	須屋神楽	すやかぐら		1月1日 2月末日 11月15日	須屋八幡宮	《演目》一人舞一採物剣一(1人舞)、神(2人舞)、御幣(2人舞)、剣(2人舞)、四人舞一採物は剣一(4人舞)、納め一採物は剣一(1人舞)。【1991】 11月15日の秋の大祭と元旦や2月末日の春の大祭の計3回奉納。元旦は、神楽が始まるのは午前0時。奉納は1915~16頃に始まった。市内の大池地区で舞われていた神楽を習ったとされる。第2次大戦で中断後、1974年に復活。78年保存会結成。地元消防団員を中心に構成されている。95年までの15年間は、黒石地区の神社の秋祭りでも奉納し、神楽の技も伝授。【2012.11.14熊日】	【伝統芸能】 神楽			
4	合志市	合志町竹迫	風流盆踊り			7月1日	竹迫観音堂	竹迫観音祭。				
5	合志市		弁天太鼓	べんてんたいこ								
6	合志市		合志八竜太鼓									
7	合志市		黒石神楽						【伝統芸能】 神楽			
8	合志市		須屋太鼓	すやたいこ								
9	合志市		弘生ウソカエ									

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
10	合志市	栄平島地区	えびす祭り	えびすまつり		10月20日	区長宅	地域の繁栄を願うえびす祭りに、地元住民たちが商売繁盛のえびす像に鯛を奉納し、手料理で祝う。平島地区は、農村地帯で、加藤清正公が16才の時、えびすさんを奉納したという言い伝えが残っているという。以来、毎年同日区長の家に地元住民が集まり、代々受け継いできたえびす像に鯛を奉納しているという。300年ほど続いているという伝統行事。【2006.10.21.熊日】				